

## 伝えたいことの中心は何か？

A. 今日、5年生が校庭の掃除をした この文は、事実をありのままに述べた文です。

B. 校庭の掃除は、今日5年生がした C. 5年生は、今日校庭の掃除をした

B、Cの文では、文頭にあることを「～は」と取り上げて、文の主題は何かを示しています。

つまり、Bの文では「校庭の掃除」が文の主題で、それは4年生でも、6年生でもなく「5年生である」ことを述べています。同じように、Cの文章では「5年生(が掃除をした場所)」が文の主題で、それは図書室でも、体育館でもなく「校庭」であることを述べている文です。

きれいになった掃除後の校庭を見て感心している校長先生に伝える文としてならば「B」がふさわしいですね。

夏の目標は、文章を正確に読み取ること。説明文や物語文を読むための基本を学びます。文章をていねいに読む習慣づくりをしていきましょう。

**家庭での学習** まずは声に出して読めるようにすることが大切です。文章を声に出して読んでください。また、「言葉の学習」プリントを解いてくること（次の授業はその解説から始めます）。

◆ 完全特訓_カリキュラム		事後の課題1	事後の課題2
①	物語文① 場面・人物をとらえる	読んだ文章の音読 先生から指示された問題 を解く	言葉の学習1
②	説明文① 指示語・接続語をとらえる		言葉の学習2
③	物語文② 心情・情景をとらえる		言葉の学習3
④	説明文② 段落の要点・段落関係をとらえる		言葉の学習4
⑤	物語文③ 心情の変化をとらえる		言葉の学習5
⑥	随筆文 筆者の思いをとらえる		言葉の学習6
⑦	つよくなろう 読解力をきたえる		言葉の学習7
⑧	思考のとびら		—

【持ち物】蛍光マーカー(2色程度)・ノートは不要です

## 根本を正しく理解すれば、難しい問題にも、楽しく考えていける。

算数は「ああでもない、こうでもない」って考えて、試してみる科目です。正解までたどりつかなくても、「考えた分だけかしこくなる」科目です。授業でも、家庭でも『楽しく考える』ことを大切にしましょう。授業では、『考えるための力』を養うための訓練をします。中学・高校数学でも基となる部分を復習していきます。あきらめずに取り組みましょう。宿題は、授業で行ったことを、定着させるために必要なものです。

「ああでもない、こうでもない」って考え、夏に大きく伸びていきましょう。

◆ 完全特訓_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	小5内容の復習① 計算・速さ	p.2~p.3 確認問題 1,2,3	事前学習や授業で間違えた問題の直しをします。  先生から指示された問題があればそれも解いてください。
②	小5内容の復習① 平均・割合	p.4~p.5 確認問題 5,6	
③	小5内容の復習② 三角形、四角形の角、面積	p.8~p.10 確認問題 1,2,4	
④	小5内容の復習③ 立方体や直方体の体積	p.12~p.14 確認問題 1,3	
⑤	小5内容の復習④ 倍数と約数、分数の加減	p.16~p.18 確認問題 1,2,6	
⑥	小6内容の復習① 分数の乗除	p.20~p.21 確認問題 1,2	
⑦	小6内容の復習③ 対称図形	p.30~p.31 確認問題 1,2	
⑧	小6内容の復習④ 文字と式	p.34 確認問題 1,2	

【持ち物】算数用のノートを1冊、定規